

むくのきだより



7月号 平成28年7月1日 港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢

一緒にできた喜びを

園長 小鹿原 賢

ベランダにある朝顔のつるが上まで伸びて、花を咲かせました。この後葉っぱが増え、緑のカーテンになり、夏の強い日差しをやわらげてくれることでしょう。

朝顔の他にも幼稚園のベランダには緑が一杯です。水遣りのときに、大きくなった実を見つけて教えてくれる子どもの顔は、驚きと喜びに満ちています。夏らしい風景は、ベランダだけではなく廊下の壁面に、紫陽花とかたつむりの紙細工の作品やアズキの実を描いた絵の作品などに現れています。

子どもの顔がたくましくなり、成長を日々感じます。それは、幼稚園でのスタートを「あいさつ」で始めることや「一緒に」という関わりを日々経験しているからだと思います。一緒に行くことで、社会性を身に付け、相手への思いやりの心を育てているのです。子どもの遊びはもちろんのこと、あいさつを交わし合う、一緒にお弁当を食べる、小動物や昆虫・植物の世話など、幼稚園の活動は「一緒に」取り組むものばかりです。

「えんにちごっこ」の行事は、友達と一緒に取り組むことで、役に立つ喜びや、思いやりの心を育むために行われました。子どもたちは、工夫を凝らしお店を作り上げ、楽しく活動することができました。保護者・地域の皆様には多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、7月21日より長い夏休みに入ります。幼稚園の生活から家庭中心の生活となります。お手伝いを家庭の中に位置づけ責任をもたせたり、様々な体験活動の中で幼稚園とは違った人と出会ったりすることによって、人との関わりがさらに広がることを願います。

健康と安全に気を付け充実した夏休みとなることをお祈りいたします。

えんにちごっこ「おもちゃ屋さん」（4歳児） 「ワニ・モグラゲーム」（5歳児）



朝顔のグリーンカーテン